

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	法学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院)

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 初年次に専門教育の導入となる科目を効果的に配置する。	→「1年次配当専門科目の開講数と受講者数・履修登録率・単位取得率」	B	B	B	A	A
2. 2年次以降に学修ニーズや進路の希望に応じたコース制を設け、専門科目を体系的に配置する。	→「コースについての学生満足度調査」	B	B	B	B	B
3. 演習のメニュー・開講数を増やし、各年次に開講して履修できるようにする。	→「ゼミ形式の少人数教育科目の開講数(専門分野別・配当年次別)と履修登録率・単位取得率」	B	B	A	A	A
4. 英語・仏語中期留学、国連ボランティア科目、外国語インテンシブ・プログラムの受講を促す。	→「英語・フランス語中期留学、国連ボランティア科目、外国語インテンシブ・プログラム受講者数・履修登録率・単位取得率(学科別・学年別・男女別・コース別)」	B	B	B	B	B
5. ライフデザイン科目の受講を促進するとともに、コース制に沿った職業支援的な科目を設ける。	→「インターンシップ関連科目の受講者数・履修登録率・単位取得率(学科別・学年別・男女別・コース別)、職業支援的な科目の開講数・受講者数・履修登録率・単位取得率」	B	B	B	B	B

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 1年次配当専門基幹科目として法律学科5科目、政治学科6科目を開講した。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 上記科目の2013年度における履修者数は7491名、科目別履修登録率平均は50.9%、科目別単位取得率平均は88.6%である。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 授業評価などを通じ、各科目に対する学生の満足度などを確認し、改善を図る。	☆
		その他	☆
			☆
目標2	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 新カリキュラムではコースを再編成し、①司法特修コース、②司法コース、③企業法務コース、④国際法政コース、⑤公共政策コース、⑥政治システムコースの6コースをおいた。法律学科生は①②③④⑤から、政治学科生は、④⑤⑥から選択する。⑤公共政策コースは両学科生が選択でき、経済学部と連携したコースで経済学部の開講科目も広く受講できるよう配慮している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 2013年度におけるコース選択の割合は以下の通り。①司法特修コース4.6%、②司法コース24.4%、③企業法務コース27.2%、④国際法政コース11.2%、⑤公共政策コース27.5%、⑥政治システムコース4.4%。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か コースの満足度調査を今後行い改善を期す。	☆
		その他	☆
			☆
目標3	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 1年生開講のスタートアップ演習、基本演習、2年生開講のコース導入演習、法政教養演習2単位、模擬裁判演習4単位、3、4年生開講の、法学研究演習、政治学研究演習、法政文化教養演習各I、II(2014年度より開講)、さらに各コースに設定された実践演習AB(司法特修実践演習はCDも)を設置した。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 1年生の演習科目は、春のスタートアップ演習(必修)を経て、秋の基本演習(自由履修)には82.5%が履修。2年生以上の演習科目はコースによって多少ばらつきはあるものの概ね安定した履修者を確保できた。2014年度からの法政文化研究演習開講に伴い、従来の研究演習においてもバランスを考慮して定員見直しを行った。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 各学年で演習科目が取れるようになったことや教育効果について調査を行う。	☆
		その他	☆
			☆

目標4	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか演習などを通じて、学生に情報提供している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 2013年度は英語中期留学8名、フランス語中期留学1名、国際ボランティア科目1名、海外フィールドワーク4名、外国語研修プログラム48名などの参加があった。外国語研修プログラムの参加人数48名は、過去5年間で最高である。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か スーパーグローバル大学構想をにらみながら学生に情報提供をしていく。	☆
		その他	☆
目標5	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたかキャリアセンターおよび教務課が実施しているライフデザイン関連の科目については、毎年一定数の学部生が受講している(別表参照)。また法学部の新カリキュラムにおいては、各コースの4年生対象の実践演習科目を置き、それぞれ実務家教員に担当をお願いしている。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 履修者数が2012年度450名であったが、2013年度には628名に急増した。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 受講生の満足度について調査を行う。	☆
		その他	☆
備考			☆

2013年度 職業支援的科目 プログラム名	2009		2010		2011		2012		2013	
	履修者数	単位修得者数	履修者数	単位修得者数	履修者数	単位修得者数	履修者数	単位修得者数	履修者数	単位修得者数
*社会の中での自分(インターンシップ講義)	108	102	213	209	197	188	234	227	332	316
*ソーシャルスキルとチームワーク(インターンシップ演習)	60	58	99	95	99	93	105	103	175	167
*インターンシップ実習	10	9	11	11	19	19	12	12	17	17
*認定インターンシップA	0	—	0	—	0	—	2	2	0	—
*認定インターンシップB	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
キャリアゼミA	10	10	7	7			14	12	11	11
キャリアゼミB	14	13	10	9	7	7	5	5	1	1
キャリアゼミC	5	5	6	6	7	7	5	5	5	5
キャリアゼミ アドバンスト	—	—	4	3	1	1	4	3	2	2
霞が関セミナー	32	32	16	16	22	21	16	14	32	32
ウイメンズ・エグゼクティヴ・リーダー養成塾	5		4		2		2			
キャリアフォーラム『マスメディアで働く』	8		6		5		2			
KG枠インターンシップ	10		8		6		7		4	
成長企業インターンシップ	4		5		3		3		2	
Next Learders Project	2		0							
KGワークラボ(企業会計編)					2		1		4	
一日企業体験	2		4		8		1		2	
キャリアデザインと自分	39	37	37	31	44	34	37	32	41	35
ライフデザインと仕事	35	34	34	33	29	25				
ワーク&ライフバランス	42	41	45	40						
	=不開講又は実施していない									
	* =インターンシップ関連科目									
	* キャリアゼミAは2009年度2年、2010年度1年。									